



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2009年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

mobile.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」本紙、当社ホームページをご覧ください。

新型インフル 日本初の感染者

カナダ帰りの高校生ら

厚生労働省は九日、成田空港で日本初の新型インフルエンザ感染者が確認されたと発表した。大



8日夜、3人の日本人男性が搬送された成田赤十字病院—千葉県成田市

阪府在住の男子高校生二人と四十代の男性教諭の計三人で、四月末からカナダのオークビルに短期留学で滞在し、八日に米デトロイトから成田に到着した。

三人は到着後の機内検査で感染の疑いが判明、感染症指定医療機関の成田赤十字病院(千葉県成田市)に搬送、隔離された。国立感染症研究所の検査の結果、新型ウイルスに陽性反応を示し、感染が確定した。入国前の検査の段階ながら、日本で感染者が確認されたのは初めて。

厚生労働省は「水際で発見隔離したため入国扱いにならず、国内での発生とは見なさない」としてい

るが、新型インフルエンザが日本でも広がる事態が迫っていることが浮き彫りになった形だ。

厚生労働省によると、男子高校生ら三人は、八日午後四時半ごろ、デトロイト発のノースウエスト便で成田空港に到着。発熱やせきなどの症状があるという。簡易検査でA型インフルエンザの陽性反応が出たため、感染研などで詳しく調べていた。

短期留学には、感染が確認された高校生や教諭を含め計三十六人が参加していた。同機には乗客乗員計四百十人が搭乗。うち同行の高校関係者を含む四十九人が待機している。